

令和8年6月1日

特別支援教室「学びの教室」

巡回指導拠点校・通級指導校

文京区立駒本小学校

校長 根来 郁明

文京区立汐見小学校(巡回校)

校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 03-3827-5575(ファクシミリ兼用)

通信

“好き”の力～押し活のススメ～

今日から6月が始まりました。

私にとって今年の5月31日は、少し特別な日でした。長年応援してきた「嵐」が活動を終了したからです。私はデビュー前からのファンなので、やはり寂しさを感じています。

でも同時に、「“好き”の力って大きいな」と改めて感じました。

つらいときに前向きな気持ちになれたり、「また頑張ろう」と思えたり…。好きな存在が、日々の支えになっていたのだと思います。そのような経験が、きっと多くの人にあるのではないのでしょうか。

最近は、「押し活」という言葉をよく耳にします。好きな芸能人やキャラクター、作品などを応援し、その存在に元気をもらうことです。

「押し」がもつ意味について調べてみると、

- ・夢中になれる趣味や生きがいを見つける
- ・不安やストレスを和らげる心の支えになる
- ・「自分はこれが好き」と、人とのつながりや自己表現につながる

など、さまざまな役割があるそうです。

実は、これは子どもたちの“好き”にも通じる部分があるように感じます。

特別支援教室でも、特定のものに強い興味や関心をもつ子どもたちとたくさん出会います。電車、昆虫、ゲーム、キャラクター、スポーツ…。周囲からは「こだわりが強い」と見えることもありますが、その“好き”が安心感や意欲に繋がっていることも少なくありません。例えば、「好きな話題なら自分から話せる」「同じ興味を通して友達との関わりが生まれる」「苦手なことを頑張るきっかけになる」など、“好き”を原動力にして成長していく姿を学校でもよく見かけます。

もちろん、気持ちが強くなりすぎて切り替えが難しくなるときもあります。だからこそ、大人が一方向的に否定するのではなく、「この子にとって大切なものなんだな」と理解しながら関わるのが大切なのだと思います。

好きなものがあることは、安心感や自己肯定感につながります。そして、その“好き”が、人との繋がりや新しい挑戦のきっかけになることもあります。

子どもたちの“好き”をこれからも大切に見守っていきたいですね。

そして私自身も、これまでたくさんの元気をもらえたことに「感謝カンゲキ」の気持ちを忘れずにいたいと思います。



<保護者の皆様へ 夏季個人面談について>

7月13日(月)から駒本小学校エリア特別支援教室の夏季個人面談を実施いたします。ご多用とは存じますが、後日配布の「お知らせ」をご覧になった上で、締め切り日までに必ずご提出くださいますようお願いください。

<令和8年度 第1回保護者学習会について>

日時:令和8年7月23日(木)10時~11時30分

場所:駒本小学校 特別支援教室「学びの教室」 多目的ホール

講師:朴の木療育塾 代表取締役 網代 布美子

「先輩母から学ぶ 第2弾 ~子どもの「困った」を感覚と運動の視点から~」

※詳細は、後日配付する案内をご覧ください。

以上